

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	ホーム独自の取り組みやお客様の近況などを、家族と積極的に共有する事が不十分である。	施設理念に基づいたグループホームの取り組みや、お客様の近況を家族に積極的に伝える。	・面会の機会が少ないご家族に対してもちょっとした変化がある時には、今まで同様電話連絡を行う。 ・「グループホーム神田便り」(季刊)を作成し、日頃の状況を、全体的、個別的に織り込み、家族に郵送する。	1ヶ月
2	4	地域運営推進会議への家族の参加が少ない。	家族が気軽に参加できる会議にする。	・硬い名称ではなく、足を運びやすいような名称に変更する。 ・曜日や時間帯の検討を行う。	3ヶ月
3	35	避難訓練の実施において、近隣の住民の参加がない。	避難訓練に近隣住民に参加してもらう。	・行事参加のお誘いや日頃の挨拶等を通し、近隣住民との関わりを更に強くする事で、非難訓練に参加しやすい雰囲気を作る。 ・地域運営推進会議の際に、民生委員や駐在員にも参加を募る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。